（例）御社のルール、状況に合わせてご利用下さい。

**経費申請書**

○○部○○○○○殿

提出日：令和○○年○○月○○日

提出者：○○部　○○係　　○○二郎

現在、マイナンバー制度は当社にとって益々重要なテーマとなってきております。今後利用が進むマイナンバー法を充分に理解し、また、その安全確保と保護対策などを体系的に学習することは業務にたいへん役立つと考えております。

つきましては、目標設定と学習成果の確認のため、下記「マイナンバー実務検定２級」を受験したいと考えていますが、受験料を経費でご清算下さいますよう検討をお願いする次第です。

|  |  |
| --- | --- |
| 件名 | マイナンバー実務検定２級の受験料の申請について |
| 試験内容 | 【一般財団法人全日本情報学習振興協会主催】　　（https://www.joho-gakushu.or.jp/）マイナンバー実務検定は、マイナンバー法及びマイナンバー制度を正しく理解し、適切な取り扱いができる人材の育成を目的として実施されています。マイナンバーは、主に社会保障、税、災害対策の分野で利用されていますが、将来的には、年金・雇用保険・医療保険の手続、生活保護・児童手当、その他福祉の給付手続など様々な分野で利用されます。国民はあらゆる行政手続きでマイナンバーの記載を求められることとなります。また、マイナンバーはこうした目的の適正・適法な利用に限定され、不適切な利用や漏洩については法の処罰対象にもなります。本試験は、マイナンバー法が施行された平成27年10月に先だって、平成27年8月よりスタートし、現在17回（平成31年3月試験まで）の開催を重ね、約4.8万人以上が受験しており、約2万人の合格者数となっています。マイナンバー法やマイナンバー制度の知識を深め、安全管理になくてはならない資格となっており、理解度に合わせて級別に受験できる試験で、個人情報保護の学習に最適です。 |
| 目的 | ① 資格取得により顧客・取引先からの個人情報に関する信用を得ることができる。② 外部機関の資格を取得することで個人情報の保護に関して現場をリードし易い。③ 社内の情報セキュリティや情報管理体制を強化や漏洩事故を防止に役立ちたい。 |
| 主催団体と試験の日時 | ① 実施団体　一般財団法人全日本情報学習振興協会② 受験を予定している会場 : 東京大学駒場校舎③ 受験を予定している日時 : 令和元年9月8日（日）年間4回開催されていますが、上記の日時に受験を予定 |
| 合否結果合格率等 | 1. 合否発表は10月8日となりますので合否結果をご報告します。

② 2級合格率は30％から35％とのことです。不合格の際も経費での清算を希望します。③ 2級受験者数は年間約1,800人　　2級合格者数は年間700人程度。 |
| 受験料とご負担のお願い | ① 2級受験料8,000円（税別）2回目受験まで経費清算をお願いしたいと存じます。② 試験団体の公認テキスト　1冊2,000円（税別）は自費で購入します。③ 試験日当日の交通費などその他費用は自己負担致します。 |
| 備考 |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 決裁日 | 99年99月99日　 | 99年99月99日 | 99年99月99日 | 99年99月99日 | 99年99月99日 |
| 決裁者 |  |  |  |  |  |